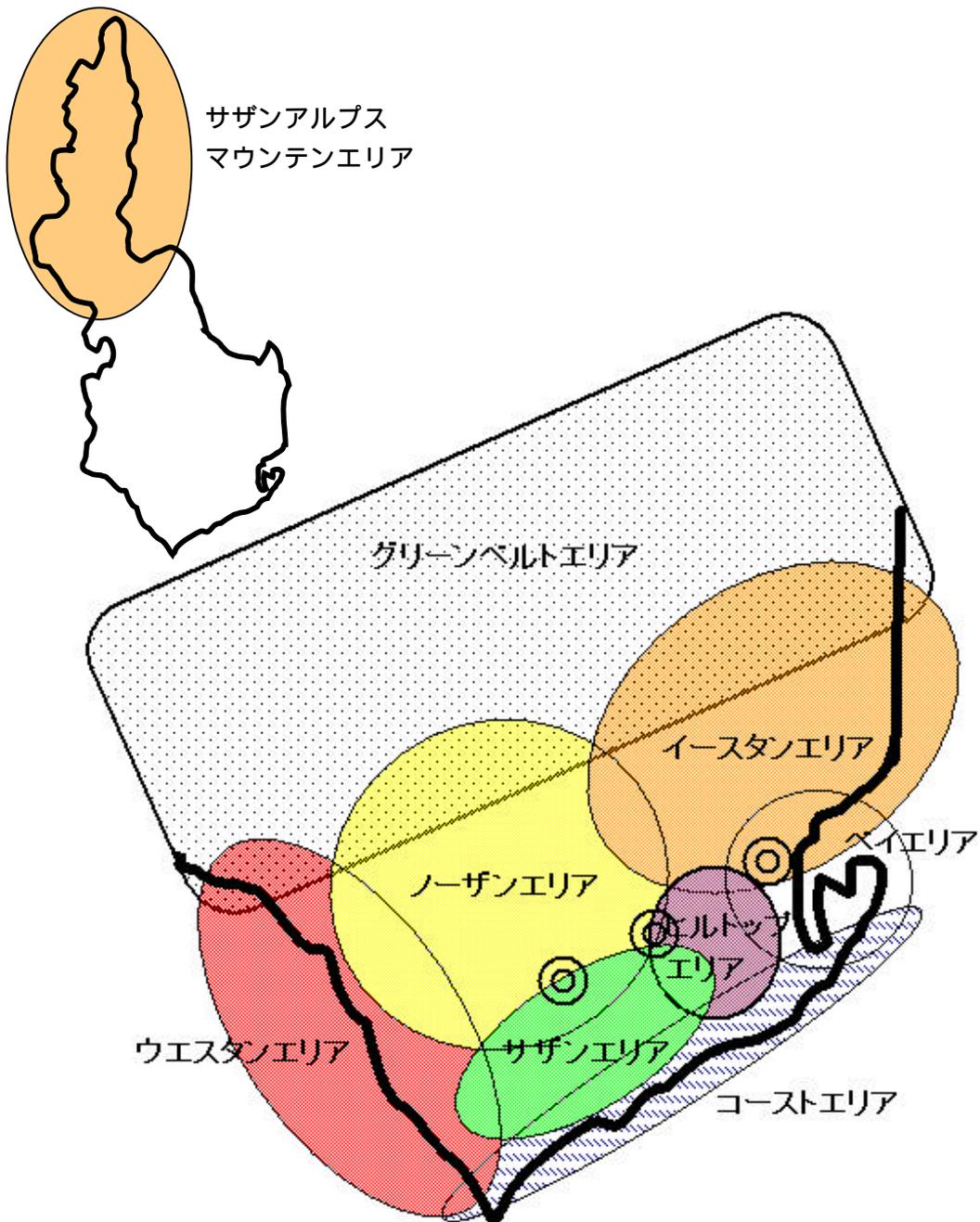


# 地域別整備方針

## 1 新市の地域区分

新市の均衡ある発展を目指すため、高度化する都市機能を分担する都市核と、各地域の発展の拠り所となる都市拠点を中心に、次のとおり地域を区分し、計画的に開発整備を進めていく。



注： は都市核を表す

## 2 地域ごとの整備方針

### (1) 都市核

100万人を超える背後圏を抱える新市の都市活動と高度化した都市機能を、特性に応じて3つの都市核で分担する。

#### 高度行政機能、情報・芸術拠点としての東静岡

高度な行政機能の拠点整備と、世界に向けた情報、文化、芸術拠点としての機能集積を図り、新市を世界にアピールする顔づくりを行う。

#### 商業・業務拠点としての静岡都心

厚く蓄積された伝統、資本を活かし、商業・業務機能の一層の高度化、多様化を図るとともに、集まる人に優しく個性豊かな都心づくりを行う。

#### 海洋文化・レクリエーション拠点としての清水都心

港との結びつきを深め、都心への流通・貿易の波及効果を高めるとともに、海とのふれあいや美しい景観と調和したリゾート感覚あふれる海洋文化交流拠点づくりを行う。

### (2) 都市拠点地域

複数の都市拠点を中心に地域を区分し、それぞれの特性を活かした土地利用を推進し、新市全体の均衡ある発展を目指していく。

#### 自然の魅力の発信拠点としての山間地域（サザンアルプスマウンテンエリア）

南アルプスをはじめとした山間地域は、未来に遺す貴重な自然資源として適切に保全するとともに、世界に誇るべき原生自然環境の魅力を発信する地域として整備を進める。

#### 安定した暮らしの拠点としての中山間地域（グリーンベルトエリア）

中山間地域は、農林業と調和しつつ、都市部との交流を通じて、交通・情報をはじめとした生活利便性の向上を図り、持続的な地域発展を目指す地域として整備を進める。

### 利便性の高い交通拠点としての西北地域（ノーザンエリア）

賤機・美和地区を中心とした西北地域は、第二東名ＩＣと一体となった面的開発と周辺交通網の整備により、市内・市外交通の連結機能の向上を目指す地域として整備を進める。

### 新たな快適生活交流拠点としての東北地域（イースタンエリア）

庵原地区を中心とした東北地域は、第二東名ＩＣの交通拠点性を活かし、農業生産の一層の高付加価値化を図るとともに、歴史遺産を守り、文化・スポーツの心を育む、快適生活交流拠点を目指す地域として整備を進める。

### 憩いの拠点としての西南地域（ウエスタンエリア）

長田地区を中心とした西南地域は、歴史と伝統を踏まえ里山や浜辺の再生を進め、自然が身近にあふれる憩いの交流拠点を目指す地域として整備を進める。

### 緑かおる文化教育拠点としての有度山地域（ヒルトップエリア）

新市市街地の中央に位置する有度山地域は、豊かな自然と調和した、高度な学術・芸術機関との連携により、居住地区と知識集約産業が複合した質の高い文化教育拠点として整備を進める。

### 物流とマリリゾートが両立した清水港地域（ベイエリア）

特定重要港湾清水港を中心とした地域は、物流・生産システムの増強をはじめ、市民に愛され利用される、美しく多機能型の交流拠点を目指すとともに、袖師・興津地区との有機的連携による整備を進める。

### 快適生活拠点としての南部地域（サザンエリア）

南部地域は、登呂遺跡をはじめとした歴史や文化と、ツインメッセを核とした交流拠点の整備、さらには、生活基盤整備の充実による快適生活拠点として、良好な住環境の整備を進める。

### 人と海との調和を目指す海岸線地域（コーストエリア）

三保から用宗に至る海岸線地域は、優れた景観の保全と地域の特性を活かした産業の振興を図り、海とのふれあいによる観光、スポーツ・レクリエーション地域としての整備を進める。